

2019 年度秋田大学医学部医学科授業計画

分 類	臨床医学 V	対象学年	5 年次 必修	時間割コード	a71643002-11
授業科目名	整形外科学 / リハビリテーション科 臨床実習 (Orthopedics ・ Rehabilitatin Medicine) - 整形外科 ・ リハビリテーション科診療の実際 -				
主任教員	島田洋一 (教授、北臨床棟 2 階) 6148 オフィスアワー 9 : 00-17 : 00				
担当教員	島田洋一 (教授、北臨床棟 2 階) 6148 オフィスアワー 9 : 00-17 : 00 宮腰尚久 (准教授、北臨床棟 2 階) 6148 オフィスアワー 9 : 00-17 : 00 松永俊樹 (准教授、リハビリテーション科) 6372 オフィスアワー 9 : 00-17 : 00 本郷道生 (講師、北臨床棟 2 階) 6148 オフィスアワー 9 : 00-17 : 00 粕川雄司 (講師、北臨床棟 2 階) 6148 オフィスアワー 9 : 00-17 : 00 永澤博幸 (医学部講師、北臨床棟 2 階) 6148 オフィスアワー 9 : 00-17 : 00 野坂光司 (医学部講師、北臨床棟 2 階) 6148 オフィスアワー 9 : 00-17 : 00 石川慶紀 (助教、北臨床棟 2 階) 6148 オフィスアワー 9 : 00-17 : 00 齋藤英知 (助教、北臨床棟 2 階) 6148 オフィスアワー 9 : 00-17 : 00 木島泰明 (助教、北臨床棟 2 階) 6148 オフィスアワー 9 : 00-17 : 00				
授業の概要 及び 一般目標 (GIO)	<p>1. 一般目標 (GIO) 医師として、整形外科関連疾患や外傷に適切に対応できるように、整形外科の基本的知識、態度、そして技能を身につける。授業では主として基本的知識を身につけることに主眼をおく。また、リハビリテーション医療の実際と種々のテクノロジーの学習を通して全人的アプローチを理解し、興味を深める。</p> <p>2. 到達目標 (SBOs) 医師として患者に接するときの基本的診療技能を身につける。</p> <p>【概要】 上記の目標を達成するために、以下の行動目標を達成するための授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主な関節や脊椎の診察、神経学的所見を適切にとり、それを理解できる。 2. 痛みや麻痺をもつ患者に対して、思いやりの気持ちを持った態度で接することができる。 3. 診察や検査の結果とその意義を理解し教官に正確に伝え、記録できる。 4. 主な関節疾患や外傷の病態や症状について説明でき、初期治療を選択できる。 5. 主な脊椎疾患や外傷の病態や病状、特に麻痺の程度を認識し、初期の対応を選択できる。 6. 四肢骨折の症状や合併症を説明でき、初期治療を選択できる。 7. 骨、関節疾患に関する基本的検査を選択し、その結果の意味を理解できる。 8. 代表的な整形外科疾患の手術療法の適応を理解できる。 9. リハビリテーションの基本的考え方を理解し、理学療法・作業療法・物理療法・装具治療の適応を理解できる。 <p>【進め方】 1. 病棟実習 各自 1～2 例の症例検討をとおして上記の目標を達成する。 カルテ、X線写真、患者診察の上総括して発表し、その後担当教官の指導を受ける。 診断過程や手術適応について考察するが、その際、参考書の受け売りにならないよう、よく当該症例対比検討すること。 実習期間中に当該症例を指導医とともに診察を行うこと。必要に応じてそれを申し出ること。</p> <p>2. 外来実習 診察の仕方やX線写真の読影の基本、リハビリ治療の実際などを実習する。指導医、療法士の患者への対応を観察し、接遇の仕方を学ぶ。</p>				

教科書・参考書	<p>【整形外科】 TEXT 整形外科学第4版（南山堂）、標準整形外科学（医学書院）、新整形外科学・外傷学（文光堂）、整形外科 MOOK シリーズ（金原出版）、新図説臨床整形外科講座（メジカルビュー社）、図説整形外科診断治療講座（メジカルビュー社）、最新整形外科学体系（中山書店）</p> <p>【リハビリテーション】 リハ実践テクニック骨・関節疾患の理学療法、島田洋一監修、メジカルビュー社 整形外科 術後理学療法プログラム、島田洋一・高橋仁美ノ編、メジカルビュー社 最新リハビリテーション医学、米本恭三監修、医歯薬出版 リハビリテーション～新しい生き方を創る医学～、上田 敏著、講談社ブルーバックス 図解理学療法技術ガイド、石川斉監修、文光堂 脊髄損傷・日常生活における自己管理のすすめ、徳弘昭博著、医学書院 呼吸リハビリテーション入門、千住秀明著、神陵文庫</p>
成績評価の方法	整形外科学・リハビリテーションの臨床実習に無断欠席した者、レポートを提出しない者は臨床実習を完了したことにはならない。
その他・メッセージ等	<p>【集合場所】 ：1 病棟 8 階カンファランスルーム *：整形外科外来 ：北臨床棟 2 階整形外科医局図書室 ：中央放射線部の 4 番の部屋 ：リハビリ外来</p> <p>1. 時間厳守 月曜日 朝 8 時 00 分:北臨床棟 2 階カンファランスルームに集合 木曜日 朝 8 時 00 分:1 病棟 8 階カンファランスルームに集合 火・水・金曜日 朝 8 時 30 分:1 病棟 8 階カンファランスルームに集合 症例検討の準備もそれまでに終了のこと。</p> <p>2. 資料の取り扱い 病歴（カルテ）、X線写真、その他の患者に関する資料は、医師または看護師の許可を得てナースステーション（記録室）内で閲覧する。室外への持ち出しは厳禁とする。ただし、検討会の朝、X線写真だけは記録室の備え付けのノートに記入した上でカンファランスルームに持参する。</p> <p>3. レポート 担当した症例のうち 1 症例につきレポート（所定のレポート用紙 1 枚にまとめること）を作成し、実習終了後 2 週までに整形外科医局（北臨床棟 2 階）に提出すること。</p> <p>4. 臨床現場で働けるように服装に考慮すること。</p>

整形外科学 / リハビリテーション科 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 1 回 月曜日 [8:00-17:00] 副題 担当 宮腰・永澤・松永・野坂	【朝 8 時 00 分 北臨床棟 2 階カンファレンスルームに集合】 リハビリテーション勉強会・抄読会 オリエンテーション 整形病棟回診 骨折の治療 リハビリ実習 総回診 抄読会
第 2 回 火曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 本郷	【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 骨・関節の X 線写真の読み方 病棟回診 外来 / 手術見学 手術見学 / 自習
第 3 回 水曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 宮腰・粕川	【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 ミニチュートリアル 1 病棟回診 * 外傷の固定 症例発表の準備 脊椎検査
第 4 回 木曜日 [8:00-17:00] 副題 担当 島田・齊藤	【朝 8 時 00 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 術後検討会 ミニチュートリアル 2 病棟回診 外来 / 手術見学 手術見学 / 自習 * MRI の見方
第 5 回 金曜日 [8:30-12:00] 副題 担当 木島	【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 ミニチュートリアル 3 病棟回診 手術見学 / 自習
第 6 回 月曜日 [8:00-17:00] 副題 担当 永澤	【朝 8 時 00 分 北臨床棟 2 階カンファレンスルームに集合】 整形外科 Bone and Basic Research Conference 症例発表 病棟回診 外来実習 自習 総回診 抄読会・懇話会
第 7 回 火曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 本郷・松永	【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 症例発表 病棟回診 外来 / 手術見学 手術見学 / 自習 リハビリ実習 O T
第 8 回 水曜日 [8:30-17:00] 副題 担当 宮腰・粕川・石川	【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 症例発表 病棟回診 外来見学 縫合系結び実習 * 脊椎実習 脊椎検査
第 9 回 木曜日 [8:00-17:00] 副題 担当 島田・松永	【朝 8 時 00 分 1 病棟 8 階カンファレンスルームに集合】 術後検討会 症例発表 病棟回診 / 手術見学 手術見学 リハビリ実習 P T

整形外科学 / リハビリテーション科 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 10 回 金曜日 [8:30-12:00] 副題 担当 木島	【朝 8 時 30 分 1 病棟 8 階カンファランスルームに集合】 BSL 評価 病棟回診 / 手術見学 手術見学 / 自習